

U.S. Office  
P.O. Box 200  
San Dimas, CA 91773

phone: 626-914-8990  
fax: 866-862-0968

Japan Office  
6-16 Enoki-Cho  
Tokorozawa-Shi  
Saitama-Ken 359-1104  
Japan

phone: 0429-25-4101  
fax: 0429-24-7231

e-mail: [info@asianaccess.org](mailto:info@asianaccess.org)  
web: [www.asianaccess.org](http://www.asianaccess.org)

## Public Statement: For Immediate Release

2007年6月12日 - June 12, 2007

# アジアアクセス総裁、9月に辞任 総裁代行が任命される

## バーゼル総裁が辞任、ローザンヌ運動に専心する

カリフォルニア州グレンドラ市（アジアアクセス）2007年6月12日－福音派の宣教団体アジアアクセスは、第3代総裁ダグラス・バーゼル氏が2007年9月30日をもって辞任することを本日発表した。

1991年に総裁に就任したバーゼル氏は、ローザンヌ世界宣教会議の国際議長にも兼任している。今回のアジアアクセス総裁辞任は、ローザンヌの働きに専心するよう導かれたため。ただし、バーゼル氏はアジアアクセスの宣教師としてローザンヌ国際会議に出向する形をとり、アジアアクセスには理事の一人として残る。

「多くの祈りを通して、これ以上2つの団体を効果的に導くことは、できないことに気づかされた。アジアアクセスとそのビジョンを愛しているが、今までの全ての経験が、ローザンヌ会議における戦略的な役割を果たすための備えであったことを、神が示してくださった。このことのために全力を尽くしたいと願っている。アジアアクセスに対して断片的に自分の時間を割くのは、良くないと気づいた。」

ロン・マクマホン理事長は、バーゼル総裁の働きに深い感謝の意を表している。「理事会はダグとジーニーを心から敬愛し、神の導きに従う彼らに豊かな祝福を祈るばかりだ。革新的なビジョンと曇りのない人格で団体を導いてくれたことに感謝している。彼の舵取り役としての16年間の働きによってリーダー養成と教会増殖の働きに集中することができた。」

アジアアクセスは、1967年に「伝道のための語学研修所」という名称で、短期宣教師による英会話伝道を行う団体として始められた。80年代に入り、「ライフミニストリーズ」として日本人牧師の研修や教会開拓に取り組むようになった。2002年には、働きが日本以外にも広まったことを受けて、「アジアアクセス」と名称を変更した。

アジアアクセスは、日本での働きに加えてアジア7カ国での働きをバーゼル氏のもとで展開している。2012年までに計20カ国での働きを拓ける計画である。現在働きのある国には、インド、カンボジア、スリランカ、ネパール、ミャンマー、モンゴルなどが含まれる。各国でアジアアクセスの研修を受けた牧師達は、数百人に及ぶ。

マクマホン理事長は、バーゼル氏の辞任を承認するにあたって「リーダーを失うのは痛手だが、これは危機ではなく機会であると認識している。アジアアクセスの使命は、『リーダーを見出し、養成し、派遣する』ことだ。ダグをローザンヌの働きに送り出すことは、アジアから世界へダグを派遣することだと思っている。」



「アジアンアクセスの価値基準の中には、『惜しまずに与える』があり、ダグをローザンヌに送り出さないわけにはいかない。」そして「ダグに与えられた新しい召しを通して神は、御自身の神の国を祝福なさると思う。辞任を承認はしたが、アジアンアクセスの宣教師として、また理事の一人としてとどまることを依頼し、彼がそれを受け入れたことを歓迎する」とマクマホン理事長はつけ加えた。

53歳になるバーゼル氏は「アジアンアクセスを愛している。ジーニーと私は、団体に加わって初めて日本に行った28年前から、アジアンアクセスの家族の一員だと思っている。アジアンアクセスの宣教師としての立場を持ち続けること、そして理事として奉仕できることを光栄に思っている。」と語る。

6月5日の理事会において、アジアンアクセス理事会は、ブルース・ジョンソン氏を総裁代行として2007年10月1日付けで任命した。ジョンソン氏は、現在アジアンアクセスのスタッフで、リーダー養成部門の副総裁を務める。また、理事会では、新総裁招聘委員会を立ち上げた。

新総裁招聘委員のデイビッド・ベネット氏は、「ダグの辞任は、ミニストリーが拡大し、力のあるリーダーシップチームが既に機能している中でのこと。大きな方向展開はない。神に与えられた私たちのビジョンは明らかで、これからもエネルギーを集中して、熱心にビジョンの実現を求めていくことに変わりはない。変化は困難な時にもなりうるが、同時に神への信頼の時でもある。マレーシアで数カ月前に祝った40周年記念の際に証しされたように、主は40年にわたってアジアンアクセスを忠実にお導きくださった。第4代総裁を2008年の春までに見出すことを期待している。将来は明るい。」と語る。

アジアンアクセスは南カリフォルニアに本部を置き、アジアにおいてリーダーを養成し、教会増殖に貢献する宣教団体である。アジアの牧師を訓練し、日本の教会と協力して教会を生み出すために宣教師を送り出している。アジアンアクセスは福音主義会計基準 (ECFA) の会員、福音主義宣教団体協会 (EFMA) 会員。アジアンアクセスについて詳しくは [www.asianaccess.org](http://www.asianaccess.org).

###